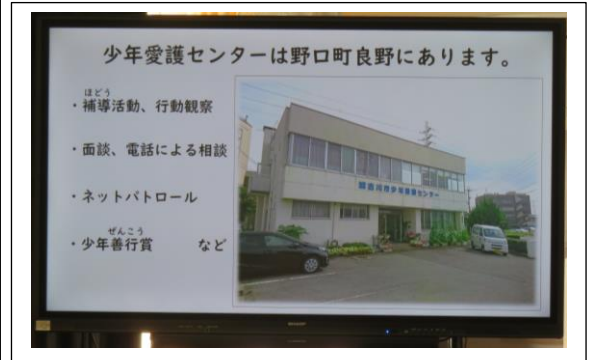
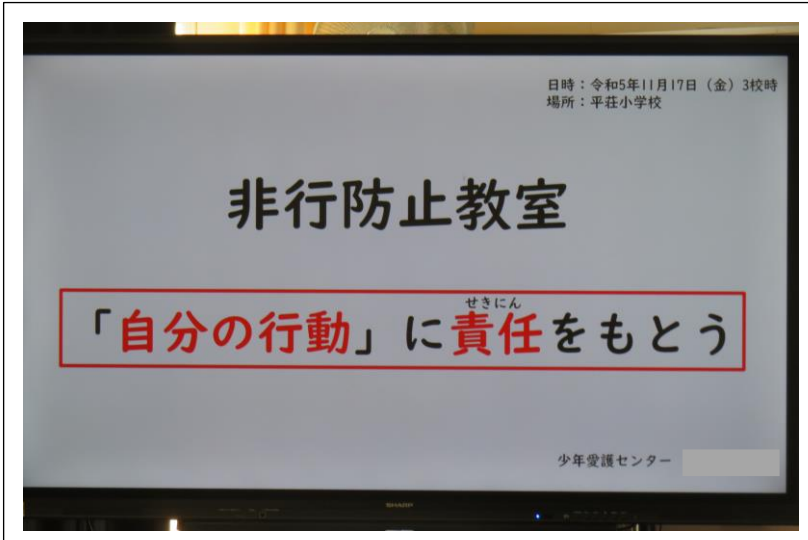


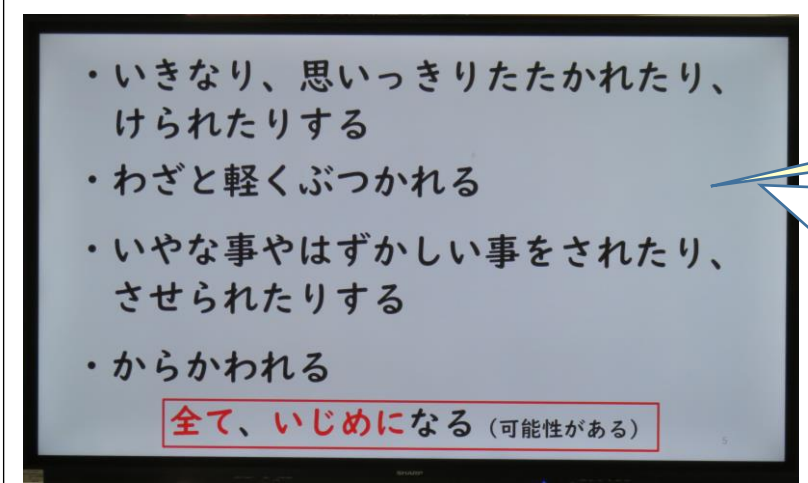
非行防止教室を行いました（6年生）

11月17日（金）に、加古川市教育委員会（少年愛護センター）の先生を招いて、非行防止教室を行いました。



はじめに、「少年愛護センター」のお仕事について話を伺いました。

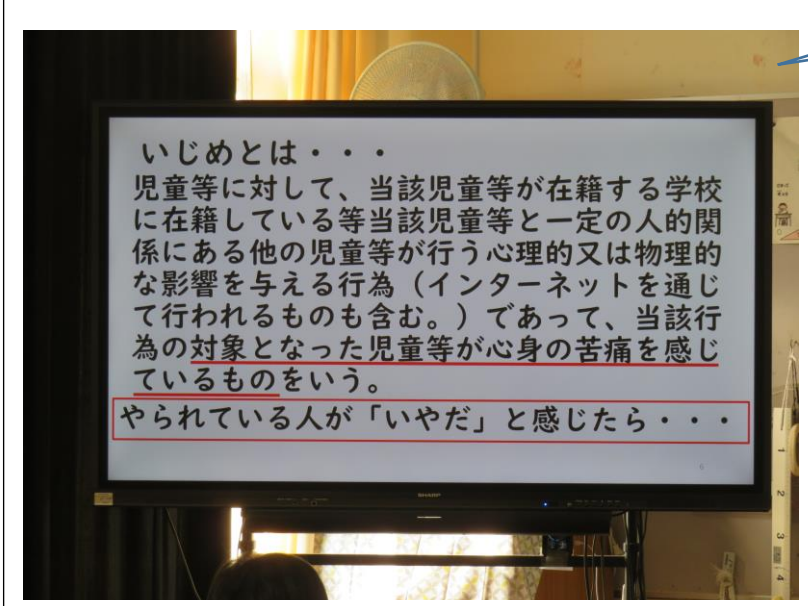
次に、4つの例を挙げて、どれがいじめかを考えました。



子どもたちからは、「回数によるかな」「からかいの内容によるかな」「相手が嫌になったらいじめかな」等、真剣に考えました。結論は、全て、いじめになる（可能性はある）ということでした。

いじめは、法律で禁止されています。

- 「あかんことしたら・・・」…あかんことは、大人も子どももしてはいけない！
- 「子どもやから大丈夫」は、ない！
大人も子どももやったらあかんことは同じ



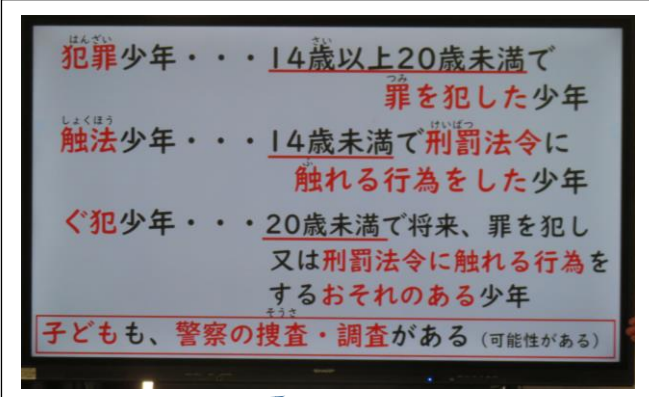
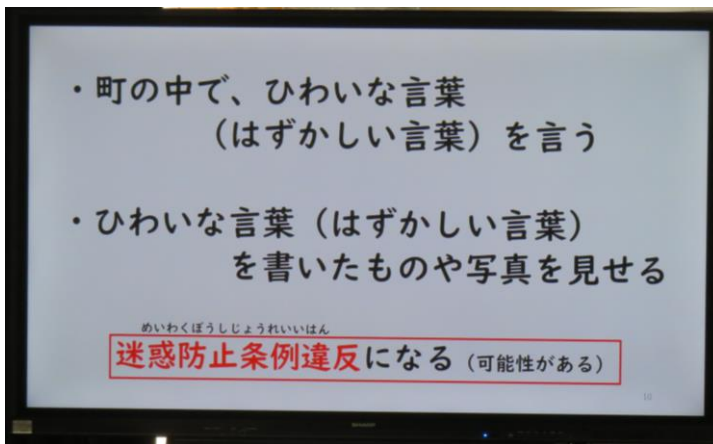
「〇〇罪」と決めるのは、誰でしょう？

決めるのは、裁判官です。

遊びの中に、犯罪の可能性が
あります。罪を決めるのは、裁判官で
す。

罪を犯すと、自分に対する責任と
相手に対する責任がでてきます。

子どもの間にやったことで、大人にな
っても責任をもち続けたいといけな
いこともあります。



●犯罪は、自分も含め、周りの人の生活に大きな影響がでます。

●犯罪は、大人や子どもに関係なく「絶対にしてはいけない行為」です。

●私は、お話を聞いて印象に残ったことは、子どもでも悪いことをしたら、大人と一緒に捕まるということです。私は、子どもも悪いことをしたら捕まるということは分かっていたけれど、子どもも大人と同じ理由になるとは思っていませんでしたので、知れてよかったです。最後の「なぜ、犯罪はしてはいけないのか」という問題で

は、犯罪はしたらダメということは分かっていたけれど、「なぜか」は詳しくは分かりませんでした。結局、犯罪はダメということなのだ、最後に分かったので良かったです。

●犯罪は絶対にしてはいけないなと思いました。いじめから犯罪につながることもあるので、いじめをしている人がいたら、止めようと思いました。犯罪をしてしまったら、後から自分が困るし、自分で一生をかけて謝ったり責任を取ったりしないといけなから、犯罪はしてはいけないなと思いました。もし困ったことがあったら、すぐに相談しようと思いました。困っている友だちがいたら、助けるようにしたいです。私は、普段からいじめが起きないように努力しようと思いました。

●犯罪は絶対にしてはいけないことだと改めて知りました。からかったり、たいたりするとも、いじめにつながるのだなと思いました。今も、これからも、犯罪は絶対にしたくないなと思いました。犯罪は、いいことは一つもないし、周りの人も自分にも迷惑をかけてしまうからです。

●今日の話で、「どこからいじめかどうか」や「これは、何の犯罪か」等、知らないことがあったので、知れてよかったです。ダメなのがいいのかをしっかりと判断できたらいいなと思います。いじめや犯罪について、しっかり考えたいと思います。